

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	シルバー人材センター運営費補助事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	高齢者支援課			
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	石井 由美子			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	公益社団法人 流山市シルバー人材センター	意図	高齢者の就労の場の拡大を支援する。
事業内容	公益社団法人流山市シルバー人材センター運営費補助金交付要綱に従い補助金を交付している。			
事業開始から現在までの状況変化	厚生労働省通知のシルバー人材センター事業執行指針に従い補助金を交付してきた。平成22年国会での事業仕訳の際に民業圧迫するとの判断から、補助金が減額され、市もこれに従い補助金を減額した。平成23年度に社団法人流山市シルバー人材センター運営費補助金交付要綱を作成し判断基準を定めた。同法人は平成24年4月1日に「社団法人」から「公益社団法人」へ変更した。平成28年度から受益実績の件数を支払いのあった件数から契約件数に変更			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		会員登録数（年度末）	738	739	766	人	
	事業受益実績（公共）	408	103	111	件		
	事業受益実績（民間）	5426	4312	4230	件		
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						公益社団法人流山市シルバー人材センター運営費補助金交付要綱に従い補助金を交付することにより、高齢者の就労を支援している。
事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度	事業受益実績については、H28年度から契約件数に改めたため減少した（H27年度までは支払件数となっていた）。			
事務事業の総コスト(a=b+c)	9,176,500	9,143,250	9,135,600				
事業費（b）（円）	8,800,000	8,800,000	8,800,000				
うち一般財源	8,800,000	8,800,000	8,800,000				
職員給与費(c)(円)	376,500	343,250	335,600				
人役・職員(人)	0.05	0.05	0.05				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト（円）（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

事務事業の業務改善について

今年度(H29)の改善計画	事業拡大及び会員の就業率向上を図るため指導・助言を実施していく。
今年度(H29)に実施した取組	当事業における補助金の交付に加え、公共事業の発注及び介護保険総合事業への参画支援等により事業拡大を支援した。

取組の課題	事業主体として参画した介護保険総合事業は対象者が少なく、現時点では利用者が増えていない。
今後の改善計画	引き続き、事業拡大及び会員の就業率向上を図るため、PR等により介護保険総合事業を周知し利用者を増やしていく。